

3

つつが虫病

Q.1 つつが虫病とは
どのような病気ですか。

- ダニの一種の「つつが虫」の幼虫に刺されることで感染し、頭痛を伴う突然の発熱や発疹を来す病気です。
- つつが虫に刺された皮膚の刺し口に直径約1センチメートル程度の大きさのかさぶたができるのが特徴です。
- なお、この病気は、人から人へ感染することはありません。
- 早期に適切な治療を受ければ回復しますが、重症になることもあります。

Q.2 つつが虫病にかからないために
どうすればよいのですか。

- ダニよけの薬剤を皮膚にすり込んでおくことは、ある程度有効です。
- 林や草むらに立ち入る場合は、できるだけ、長袖、長ズボン、長靴などを着用し、皮膚の露出を最低限にしましょう。
- 林や草むらに立ち上がったあとは、入浴し、よく身体を洗いましょう。

Q.3 つつが虫病にかかったら
どうすればよいのですか。

- 早期に診断して適切な抗菌薬を服用することで治りますので、農作業やレクリエーションで林や草むらを歩き回ったあと、数日から2週間ほどして発熱と発しんが現れた場合には、医療機関を受診し、林や草むらを歩き回ったことを医師に伝えてください。



刺し口



タテツツガムシ

国立感染症研究所感染症情報センターでは、ホームページ上で、つつが虫病について解説していますので、こちらもご参照ください。

アドレス http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_13/k02_13.html

4

高病原性鳥インフルエンザ

Q.1 高病原性鳥インフルエンザとは
どのような病気ですか。

- 鶏などの鳥がかかるインフルエンザで、感染した場合の鳥の死亡率が高いウイルスによる感染症です。
- 鶏、アヒル、七面鳥、うずらなどの鳥が、鳥から直接あるいは糞、尿便を介して感染し、神経症状、呼吸器症状を起こします。
- まれに、感染した鳥と近距離で接触したり、その内臓や糞、尿便に接触した場合に、人に感染すると報告されています。
- なお、鶏肉や鶏卵を食べたことによって人が感染したとの報告はありません。

Q.2 高病原性鳥インフルエンザにかからないために
どうすればよいのですか。

- この病気が発生した農場で鳥の殺処分などに従事する人は、ゴーグルの着用、専用のマスクの着用など徹底した感染防御と健康管理を行いましょう。
- また、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された地域に渡航する場合には、生きた鳥などを販売している市場などに立ち入ることは避けましょう。

Q.3 高病原性鳥インフルエンザにかかったら
どのようにすればよいのですか。

- この病気が発生した農場で鳥の殺処分などに従事する人は、本人もしくは家族に発熱などのインフルエンザのような症状があった場合は、そのことを医療機関に伝えたくてただちに診療を受けてください。
- この病気が人や鳥で発生が確認されている地域に旅行した人で、帰国時または帰国後3日以内に発熱やインフルエンザ様の症状など健康の異常を認めるときは、医療機関を受診してください。

国立感染症研究所感染症情報センターでは、ホームページ上で、高病原性鳥インフルエンザについて解説していますので、こちらもご参照ください。

アドレス http://idsc.nih.gov.jp/disease/avian_influenza/index.html